



ほけんだより 8月

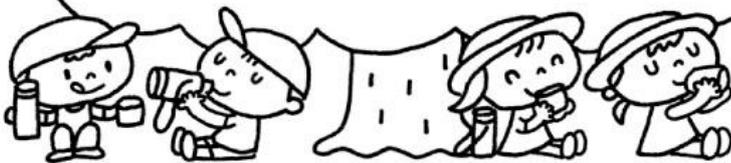
大宮みちのご保育園
2021年8月2日

暑さが厳しくなり、発熱・鼻水・咳など体調を崩す子が増えてきました。7月は園でもアデノウイルス、RSウイルス感染症が出ました。今年は全国的にRSウイルス感染症が流行しています。以前は冬の感染症でしたが最近は夏から流行し、大人や大きな子はかぜ症状で済みますが、小さな子、特に乳児が罹ると気管支炎や肺炎、脳症を起こすこともあります。RSウイルスは飛沫・接触感染するので、新型コロナウイルスの対応と同様ですが、マスクの着用・咳エチケット、手洗い、とくに鼻をかんだティッシュの処理後手洗いに注意して予防していきたいです。

熱中症に気をつけましょう

ジリジリと暑い夏本番がやってきました。この時期、特に気をつけたいのが熱中症です。乳幼児は体も小さく、自ら意思表示をして水分をとることが難しいので、脱水症や熱中症にならないよう、周囲の大人が気をつけましょう。熱中症は、炎天下だけでなく、湿度の高い室内でも起こり得ます。通気性のよい服を着せ、こまめに水分を与え、外出時にはきちんと帽子をかぶらせるなどしましょう。

車の中での熱中症による死亡事故も起きています。短い時間でも子どもを車に残したままにしないでください。



マスクの替えを
持たせてください

汗でぬれたり汚れたときは交換して使います。マスク用の袋があると清潔に持ち帰れます。

マスクの落とし物も増えていますので、記名して持たせてください。

蚊に刺された所を何回も搔いて、炎症を起こしている子が増えてきました。蚊に刺されてかゆみが出るのは、蚊が血を吸うときに吸った血液が固まらないように「唾液腺物質」を注入しアレルギー反応を起こしているためです。乳幼児期は、刺された直後ではなく翌日以降に腫れやかゆみが強く出ます。刺される経験が増えると直後に腫れとかゆみが出てきます。刺された直後は、水で洗い流し冷やす・虫刺され用市販薬などでかゆみを抑えましょう。刺されたところがパンパンに腫れる・水疱ができた・搔きむしってしまうときは皮膚科受診をして治療を受けてください。保育園で虫に刺されたときは、洗って冷やすことしかできません。搔きむしって「とびひ」にしないよう、気を付けていきたいです。

